

関連資料

# 感染症発生動向調査

## 水痘小児科定点報告

・

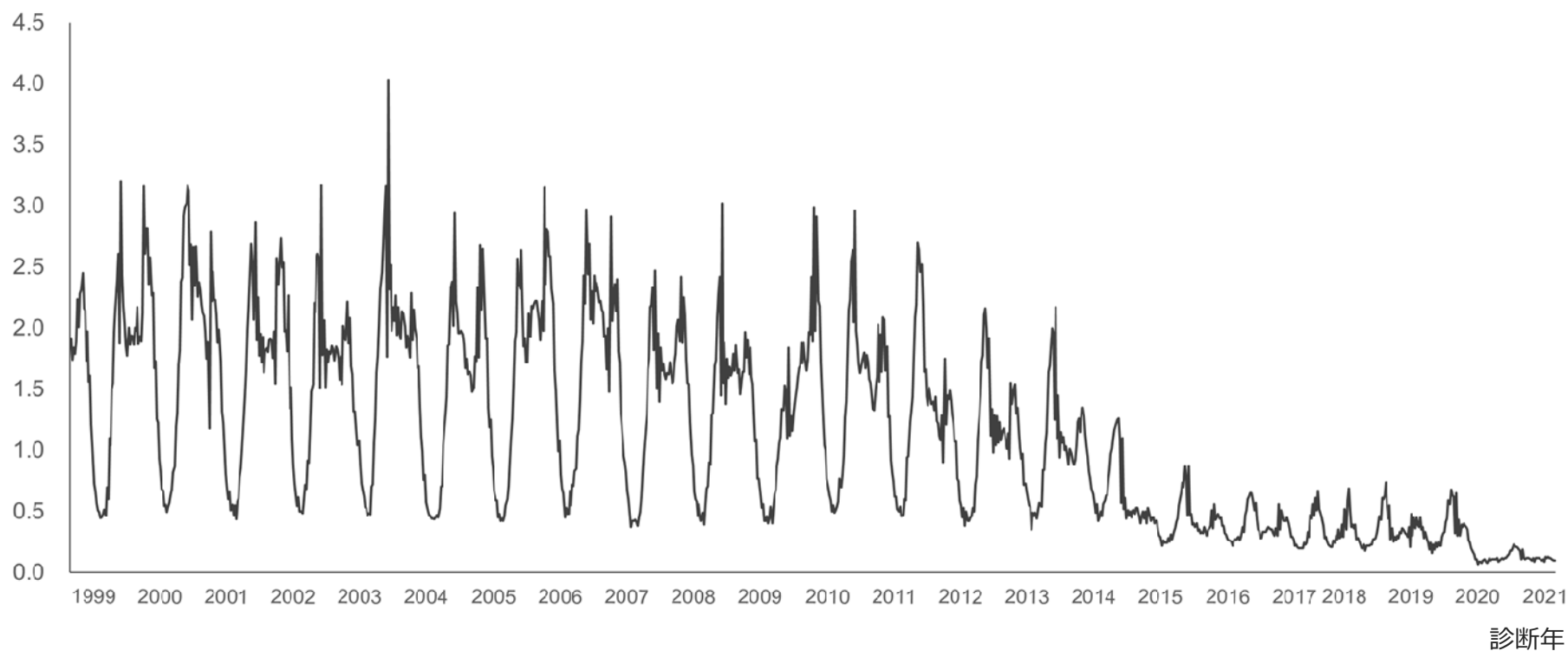
## 水痘（入院例に限る。）全数報告 のまとめ

国立感染症研究所

# 水痘小児科定点報告 週別定点あたり報告数 1999年第14週～2021年第26週

(2021年9月1日暫定値)

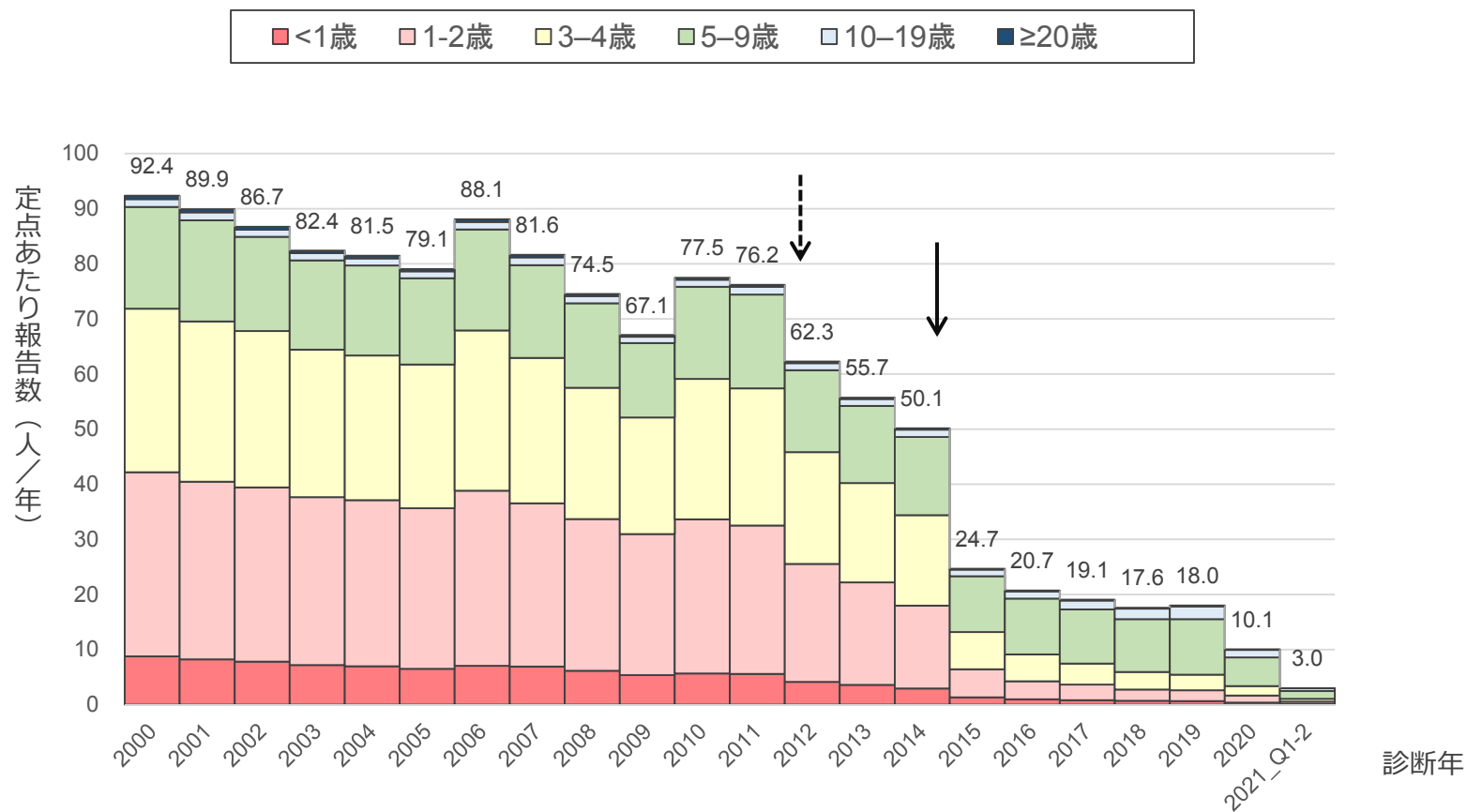
定点あたり報告数  
(人/週)



注：2021年は第1週から第26週まで

# 水痘小児科定点報告 年別定点あたり報告数 2000年～2021年第26週

(2021年9月1日暫定値)



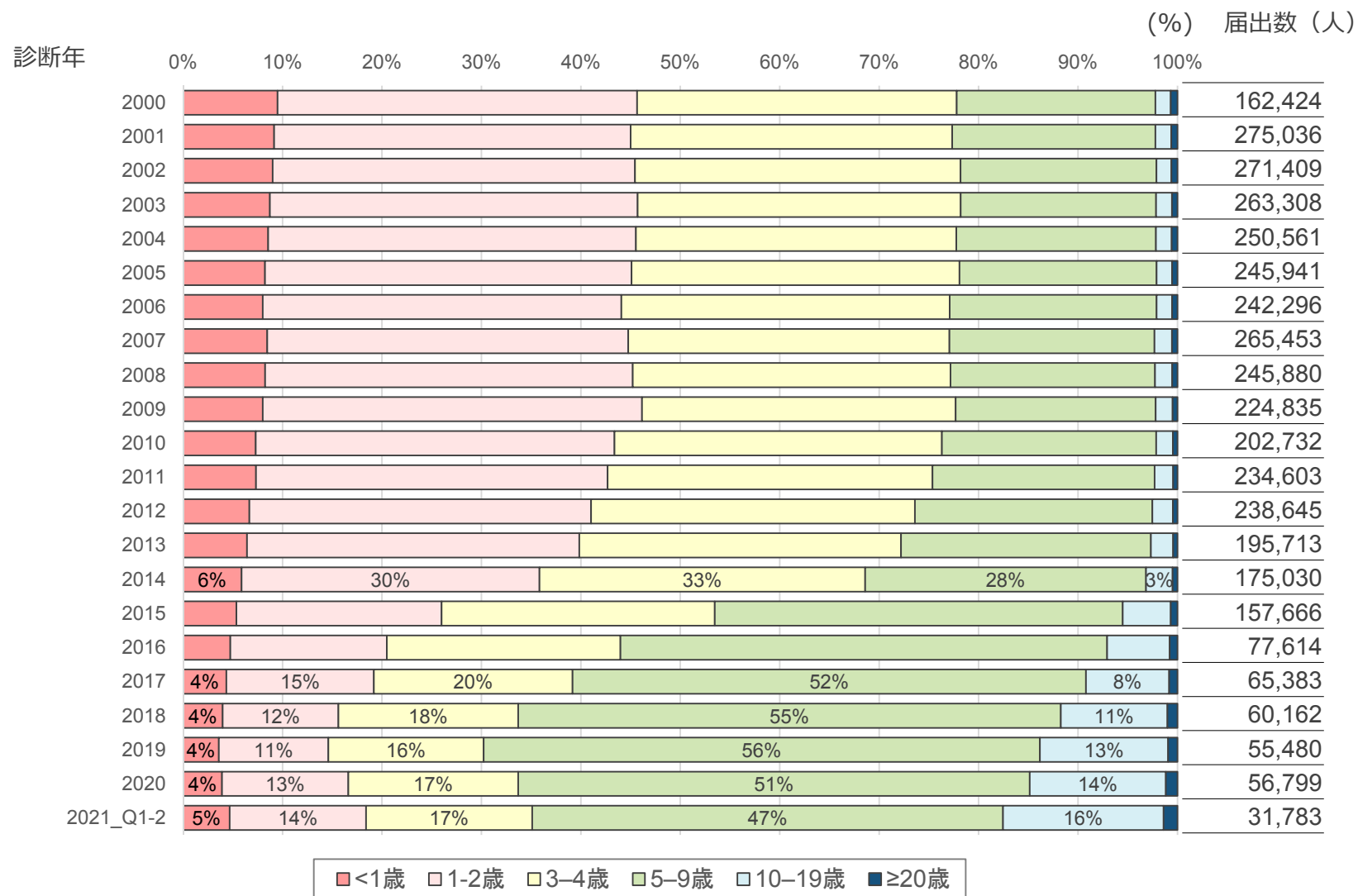
注：2021年は第1週から第26週まで

↓ 日本小児科学会より水痘ワクチンの1-2歳で2回接種推奨発出

↓ 水痘ワクチン定期予防接種導入

# 水痘小児科定点報告 年別年齢分布 2000年～2021年第26週

(2021年9月1日暫定値)

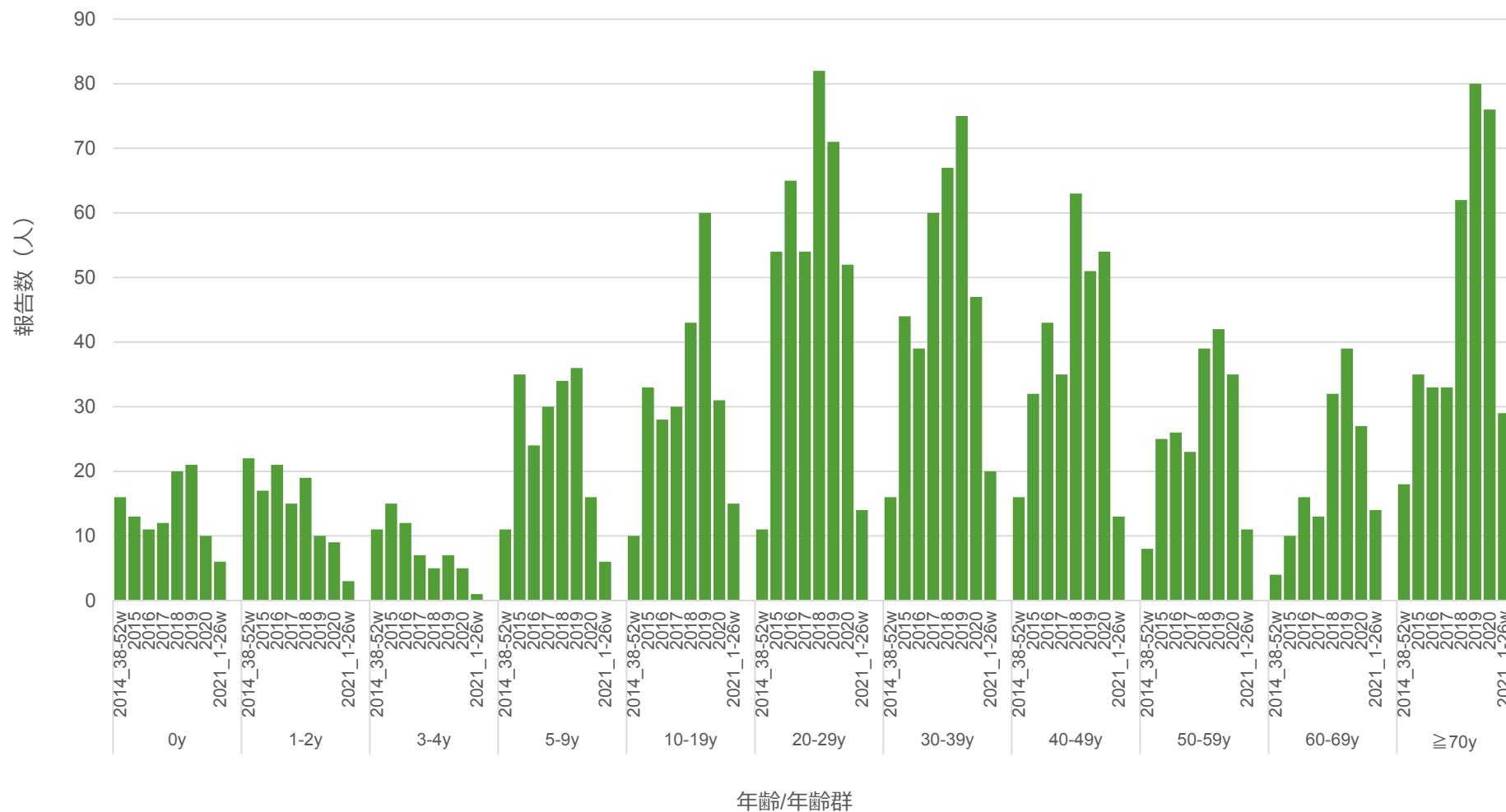


注：2021年は第1週から第26週まで

# 水痘入院例全数報告 年別・年齢群別報告数

## 2014年第38週～2021年第26週 (n = 2,538)

(2021年9月1日暫定値)



注：2021年は第1週から第26週まで

# 水痘入院例全数報告 概要

2014年第38週～2021年第26週 (n = 2,538)

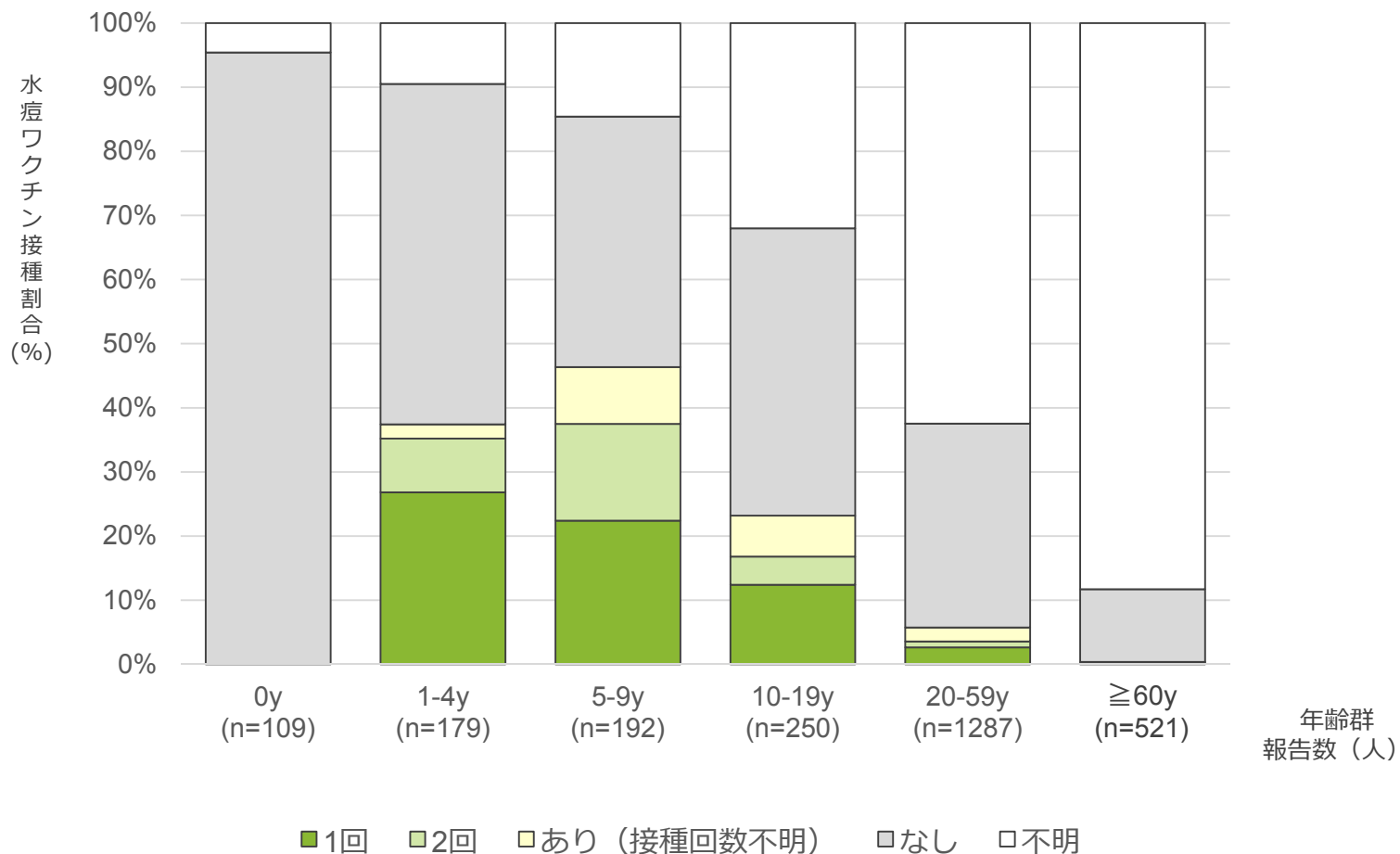
(2021年9月1日暫定値)

		n	(%)
報告数		2,538	
	2014年 (第38-52週)	143	
	2015年	313	
	2016年	318	
	2017年	312	
	2018年	466	
	2019年	492	
	2020年	362	
	2021年 (第1-26週)	132	
性別	男性	1,544	(60.8%)
年齢	中央値	33	
	四分位範囲	(17-54)	
	範囲	(0-100)	
病型	検査診断例	1,192	(47.0%)
	臨床診断例	1,346	(53.0%)

# 水痘入院例全数報告 2014年第38週～2021年第26週 (n = 2,538)

## 年齢群別予防接種状況

(2021年9月1日暫定値)

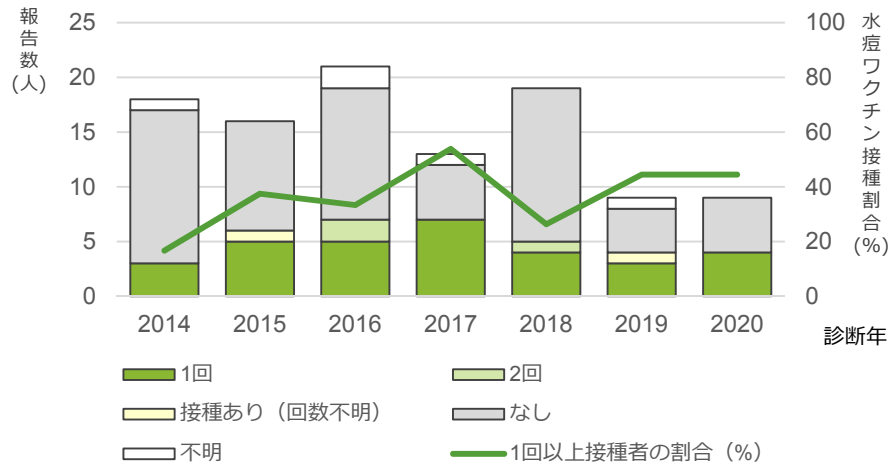




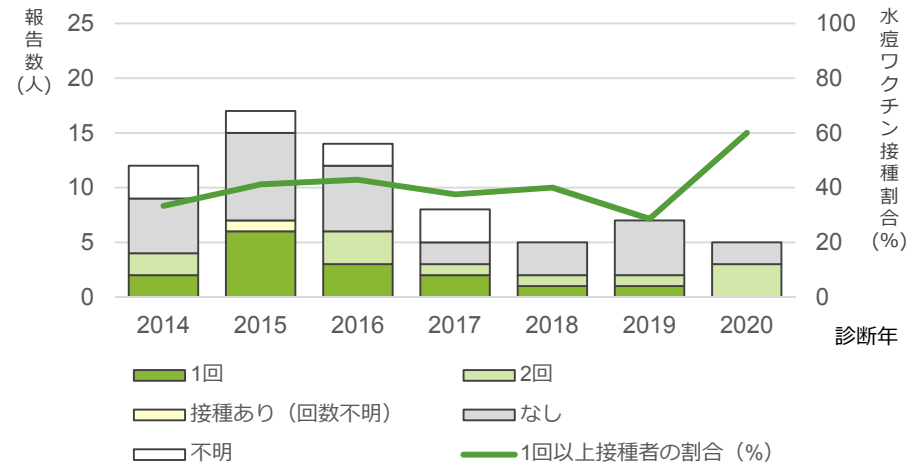
# 水痘入院例全数報告 診断年別年齢群別 小児予防接種状況 (2014年第38週～2020年第52週)

(2021年9月1日暫定値)

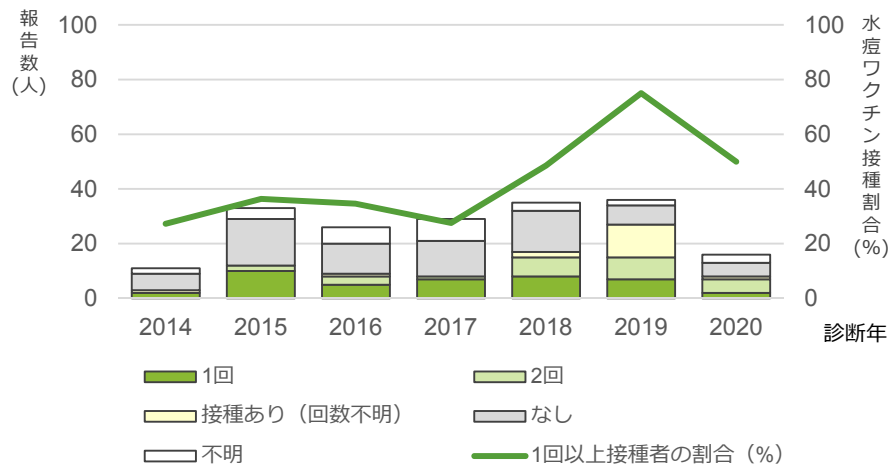
診断年別 予防接種状況\_1-2歳 (n=105)



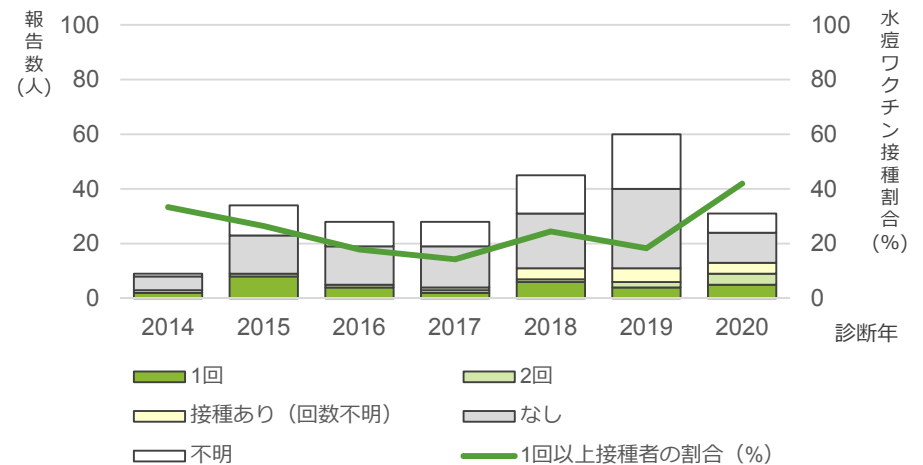
診断年別 予防接種状況\_3-4歳 (n=68)



診断年別 予防接種状況\_5-9歳 (n=186)

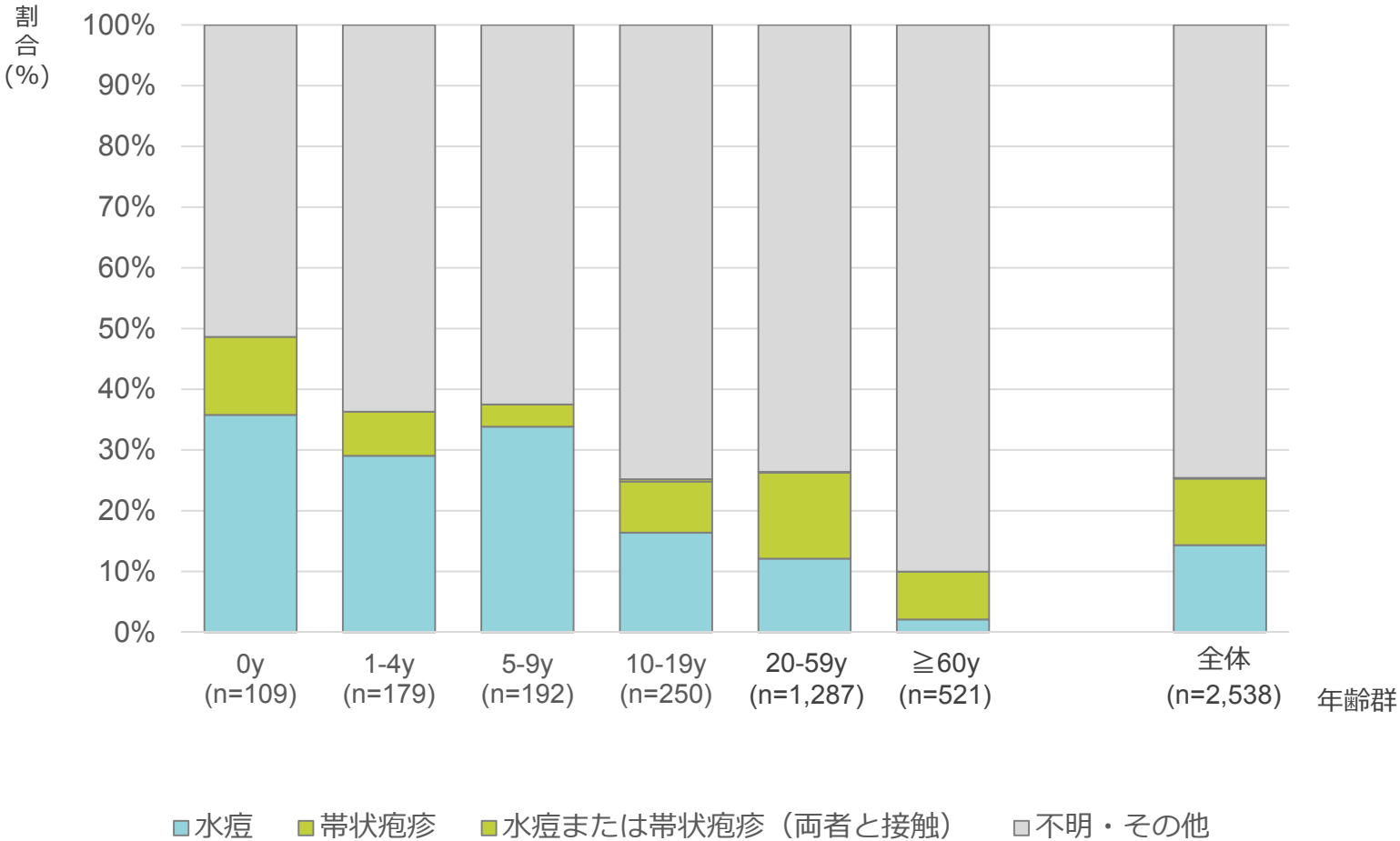


診断年別 予防接種状況\_10-19歳 (n=235)



# 水痘入院例全数報告 年齢群別推定感染源 2014年第38週～2021年第26週 (n = 2,538)

(2021年9月1日暫定値)



# まとめ

- 2014年10月の定期接種化後、5歳未満の水痘報告数は速やかに減少し、2015年以降も緩やかに減少傾向が継続的に観察された
- 一方で2015年から2019年にかけて5-9歳群の年間報告数は横ばい
  - 2017年以降、5-9歳群に定期接種世代も含まれる
  - 定期接種機会のなかった世代の罹患・breakthrough varicellaの可能性
- 帯状疱疹患者が重要な感染源であることが示唆される
  - 推定感染源の病型について記載のあった645人（25%）のうち、成人では帯状疱疹からの感染が推定される割合が57%
- 今後、定期接種機会のなかった年長児世代、成人における感受性者対策に加え、帯状疱疹予防との両輪で水痘帯状疱疹ウイルス感染症の対策を進めていくことが重要となると思われる
- 2020年は年長児も含めて水痘小児科定点報告数が大きく減少した。新型コロナウイルス感染症の流行に対する徹底した飛沫・接触感染症対策の効果が水痘の発生動向にも影響したことが一因として推察された